
特定非営利活動法人 わおん

平成 30 (2018) 年度 事業報告書

平成 30 年 4 月 1 日～31 年 3 月 31 日

こどもたちがもっと元気に輝く地域に

特定非営利活動法人

わおん♪



〒399-0704 長野県塩尻市広丘郷原685

TEL : 0263-87-3005 FAX:0263-87-4024

E-mail : waon@ac.auone-net.jp

<http://npowaon.com>

わおん 松本平

検索



♪平成30年度事業の成果・総括

今年度は継続事業が多かった。ハイジの森で通常の森カフェ以外に、里山子育て子育てセミナー・実践イベントなど様々な事業を実施した。常連の参加者が少しずつ増えている。また、今まで森に足を運ばなかった人にも足を運んでもらう事ができた。

わおん♪キャンプを、昨年度より2本増やし、8本実施した。松本市や岡谷市にも広報し、多くの参加があった。事業が多くなってくると準備に追われ、他のことが後回しになってしまうので、実施体制を充実させていく必要があると感じた。

♪事業の実施に関する事項

— 特定非営利活動に係る事業 —

(1) 環境と子どもに関わる体験事業

1-1 わおん♪自然探検隊/主催事業

(子どもゆめ基金助成事業/2010年度より継続事業)

日程：

- 2018/4/14 第1回 入隊式 参加者27人
- 2018/5/12-13 第2回 春のキャンプ 参加者25人
- 2018/6/9 第3回 外あそびの達人になろう① 参加者22人
- 2018/7/7 第4回 外あそびの達人になろう② →大雨のため中止
- 2018/8/3-5 第5回 夏のキャンプ 参加者19人
- 2018/9/8 第6回 ひみつ基地であそぼう 参加者18人
- 2018/11/10-11 第7回 秋のキャンプ 参加者14人
- 2018/12/22 第8回 里山のクリスマス会 参加者21+25人

会場：柏茂会館、上小曾部転作促進研修センター

参加者 小学校3年生～中学校2年生 延べ146(↓43人) ※探検隊メンバーのみ

事業費：1,258,000円(子どもゆめ基金439,000円、参加費収入819,000円)

成果：2010年度から活動をはじめ、9年間継続している。2019年度は10年目になるので、記念イベントを実施したいと考えている。29年度からは、信州大学の学生にサポーターとして関わってもらえている。

課題：サポーター集めに毎回苦労している。

平成30年度は参加費をあげて実施したため、参加者が前年度より大幅に減った。柏茂会館の継続利用が難しくなりそうで、今後の活動展開を早めに検討する必要がある。

1-2 ハイジの森探検隊

会員からの実施希望の相談があり、企画検討中のみ変化なし

1-3 森カフェプロジェクト(ハイジの森)/主催事業

(元気づくり支援金など/2015年度より本格実施事業)

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



◆通常森カフェ

2018/4～2019/3 延べ57回（↑10回）開催（天候不順により中止6回）

参加者 0歳～保護者まで 延べ508人（↑63人）

◆森カフェイベント：

2018/7/1 自然をいかす生活の知恵（ブッシュクラフト×森の癒し）

※元気づくり支援金 里山子育ち事業 参加者 9組27人

2018/8/11 夜のたき火を楽しもう（たき火×森の癒し）

※元気づくり支援金 里山子育ち事業 参加者 9組22人

2018/9/9 森で楽しむ簡単料理（クッキング×森の癒し）

※元気づくり支援金 里山子育ち事業 参加者 13組37人

2018/11/24 木を切り倒してみよう（間伐体験×森の癒し）

※元気づくり支援金 里山子育ち事業 参加者 12組33人

会場：ハイジの森（イベントは、上小曾部転作促進研修センターも利用）

事業費：

◆通常森カフェ 参加費：170,050円（↑23,550円）

◆森カフェイベント 参加者43組119人（↑23人）

参加費：110,700円（↓24,700円）6回→4回

助成金：元気づくり支援金

成果：森カフェ本格開催から丸4年となり、参加者数は増えている。森カフェコーディネーターの方に開催をお任せすることもできるようになり、他の事業と重なっても森カフェが開催できるようになり、開催回数、参加者ともに増加した。また、森カフェイベントも参加者が増え、いろいろな人に足を運んでもらうことができた。

課題：森でイベントを実施してみたい人が開催できるよう、他の事業と重なってもよいように、チームで運営できる体制づくりをしていく

1-4 県外・市外の子どもたち向けのキャンプ実施

●わおん♪キャンプの実施/主催事業 (2017年度より継続事業)

2018/7/21-22 わおん♪ツリーハウスキャンプ

参加者 小学校1～6年生 18人

2018/7/28-29 わおん♪ひみつ基地探検隊→台風のため、11/17-18に延期

2018/8/25-26 わおん♪ひみつ基地探検隊

参加者 小学校1～6年生 21人 保護者 2人

2018/9/15-16 わおん♪ひみつ基地探検隊

参加者 小学校1～6年生 18人 保護者 1人

2018/9/22-23 わおん♪ツリーハウスキャンプ

参加者 小学校1～6年生 16人 保護者 2人

2018/10/13-14 わおん♪きこりキャンプ

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



参加者 小学校 1～6 年生 6 人 保護者 1 人
2018/10/20-21 わおん♪ツリーハウスキャンプ
参加者 小学校 1～6 年生 11 人
2018/11/3-4 わおん♪ツリーハウスキャンプ
参加者 小学校 1～6 年生 11 人
2018/11/17-18 わおん♪ひみつ基地探検隊
参加者 小学校 1～6 年生 8 人 保護者 1 人
2018/3/23-24 早春キャンプ ※塩尻市教育委員会社会教育課主催事業
参加者 小学校 1～6 年生 8 人

会場：柏茂会館、上小曾部転作促進研修センター
事業費：参加費 1,668,000円（↑223,500円）
参加者 117名（↑22人）、保護者7人（↑3人）

成果：30年度も、松本市・塩尻市・岡谷市の後援をとり、学校にチラシを配布し実施した。また、3月に柏茂会館を試験的に使って、宿泊のプログラムを実施することができた。塩尻市社会教育課が主催となり実施。
課題：キャンプを6回から8回に増やしたが、収益はあまり増えなかった。ひとつひとつのキャンプの参加者が多くなるように工夫する必要がある。また、スタッフの確保が必要になる。大学生などにも声をかけ、充実させたい。

1-5 塩嶺体験学習の家／受託事業：塩尻市教育委員会 (2011 年度より継続事業)

2018/5/19-20 体験学習フェスティバル、オプション企画 25 名
2018/6/10、9/2、10/28、11/25 こども未来塾リーダー研修の運営
2018/4～2019/3 塩嶺体験学習の家のブログの更新
会場：塩嶺体験学習の家

成果：2011 年度より継続して事業が実施できている。体験学習フェスティバルは定着してきた。多くの参加者に来てもらう事が出来ている。
課題：2016 年度からは予算が大きく減り、ニュースの発行と指導者養成講座を削り事業規模が縮小したまま事業を実施している。

1-6 こどもしおじり／受託事業：塩尻市市民交流センター交流支援課 (2016 年度より実施)

2018/12/8・9 こどもしおじり開催
2018/4～2019/12 実行委員会開催
参加者 小学 3 年生から中学生 162 人

成果：30 年度は定員を 150 名と増やし、170 名近くの申し込みがあった。専門家、コアスタッフ、当日スタッフなど、多くの協力者を得ることが出来、様々な主体

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



との協働事業として成功することが出来た

課題：31年度は定員増にともない予算をあげてもらえることとなった。運営にかかわるスタッフを増やし、事前準備をきちんとすすめられるような体制づくりをしたい。

1-7 出前イベント／受託

- 2018/5/23 大門児童館 内容：昔遊び
2018/6/16、7/14-15、12/15 ジュニアリーダー養成講座
2018/7/13 並柳小学校 内容：自然体感プログラム
2018/7/21 大門公民館 内容：アウトドアクッキング
2018/8/10 宗賀児童館 内容：自然体感プログラム
2018/8/17 昭和電工夏祭り 内容：昔あそび
2018/8/21 蟻ヶ崎児童館
内容：外あそびの達人講座（ロープワーク、たき火）で基地遊び
2018/9/29 大門公民館 内容：アウトドアクッキング
2018/10/2 蟻ヶ崎児童館
内容：外あそびの達人講座（ロープワーク、たき火）で基地遊び
2018/10/2 宗賀児童館 内容：たき火講座&スープづくり
2018/10/22 広丘野村保育園 あそびの広場 内容：自然体感プログラム
2018/11/01 並柳小学校 内容：自然で遊ぼう
2018/11/04 わおんキャンプ延長プログラム
2018/2/17 榊原の地域振興を考える会（三重県） 視察受け入れ

事業費：受託金額 369,000円（↑126,100円）

成果：平成28年度から、児童館の出前イベントについて塩尻市が予算を組んだが、30年度は29年度に引き続き依頼は少なかった。また、蟻ヶ崎児童館からは、継続して依頼をいただいている。子ども会育成会のジュニアリーダー養成講座についても、継続して依頼をいただいている。（担当課：こども課から男女共同参画・若者サポート課に変更）

わおんの活動を見たいと、視察の申し込みがあり対応した。今後、このような機会を増やしていきたい。

課題：塩尻市の児童館の出前イベントについては2017年度から減少しているので増やしていきたい。きちんと成果を市に伝えていく必要がある。また、その他からの出前イベントの受託をさらに増やせるよう、積極的に営業活動をし、増やしていく必要がある。2018年度は子育て支援センター、保育園関係に営業を掛けられなかったため、2019年度は声をかけていきたい。

(2) 体験事業に関わる普及交流事業

2-1 げんすけ祭り/主催事業（2010年度より継続事業）

日程：2019/2/11 10時～15時

会場：塩尻市市民交流センター（えんぱーく）3階

参加者約400名 出展団体 16団体

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



子どもサポーター 3人 こども会議 2回実施

事業費：55,150円（↓19,100円）

成果：子どもたちが一から企画を考える子ども会議を2014年度から継続して実施することができた。メンバーは入れ替わってきているが、今年度は3名が関わってくれた。2月のイベントとして定着してきた。参加団体からは継続した実施を希望する声が多くあがった

課題：わおんとしての収益が伸び悩んでいる。売り上げを増やすとともに、経費や手間が減らせるよう工夫したい。

今回は、えんぱーくの交流事業として採択され、会場代はかからずに実施できた。

今後も、交流支援課や図書館、子育て支援センターとのコラボイベントとして継続したい。

2-2 各種交流会（げんすけ Bar、lunch、お茶会）

2019/2/11 わおん10周年記念交流会

2-3 出張げんすけ+げんすけ縁日／コラボ企画・ブース出展

2018/4/15 さくらフェスタ

2018/5/20 体験学習フェスティバル

2018/8/12 チロルの森 自然体験フェア

2018/9/1 森のフェスティバル

2018/9/2 ひらいで遺跡まつり

2018/10/27 ハッピーハロウィン

2018/10/6 木育フェスティバル

売り上げ：75,400円（↓97,500円）

内容：受託 0件（↓3件）、自主的に参加 7件

成果：いろいろなイベントに出向いてわおんのPRを実施することができた。

課題：げんすけの出演依頼がゼロだった。受託の依頼がないと、収益的に厳しい。目的を持ったブース出展ができるとよい。

2-4 全国森カフェプロジェクト推進チーム（出張森カフェ／コラボ企画）

森カフェのロゴが完成した→のぼり旗、焼き印、スタンプなど作成

月刊イマジ、Kids Kamachiへ広告を掲載した

2018/6/3、9/24 森カフェ in 松川

2018/8/18、9/17、2019/3/3 国営アルプスあづみの公園

2019/01/26 たき火実践講座 in 松川町

2018/9/12 阿部知事とのティミーティング

森カフェグッズの貸し出し

成果：国営アルプスあづみの公園で出張森カフェを2回、松川町で2回、松川町でたき火実践講座を1回実施することができた。

阿部知事とのティミーティングをハイジの森で開催することができた。里山活用について意見交換することができた。

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



課題：出張森カフェに関する問い合わせは増えてきているが、まだ実現に結びついていないものが多い。出張森カフェを依頼する側の課題を探り、依頼しやすい体制を検討していく必要がある。

2-5 里山子育て・子育てセミナー・フォーラムの開催/主催事業

2018/6/24 「外あそびのススメ ～子どもの成長につながる外あそびの工夫～」

講師：渡邊 真也氏（公財 身体教育医学研究所指導部長）

参加者 8人

2019/3/2 子育て・子育て支援フォーラム

「森林・里山をもっと身近に！」

事例紹介：長野県松本地方事務所 林務課

長野県次世代サポート課

塩尻市森林課

一般社団法人 塩尻市森林公社

信州外あそびネットワーク

全国森カフェプロジェクト推進チーム

参加者 8人

会場：塩尻市市民交流センター

成果：参加者からはセミナー、フォーラムともに好評だった。フォーラムでは、森林に関わる関係部署の人と顔を合わせ意見交換することができた。

課題：集客に苦勞している。どんな人に来てほしいのか、具体的にイメージして、直接声をかけたりして誘うようにしていく必要がある。

2-6 関係ネットワークへの参加

◆信州外あそびネットワーク

2018/04/27 本部ネット会議

2018/05/27 本部会議 @塩尻

2018/06/21 本部会議

2018/7/26 本部会議

2018/09/05 本部会議@塩尻

2018/10/31 本部会議@塩尻

2018/12/17 本部会議@小諸

2019/01/31 本部ネット会議

2019/2/20 外あそびネットワークの総会に参加

外あそびネットワーク事務局として会計を担当

◆木育フェスティバル実行委員会

2018/9/1 森のフェスティバル

2018/10/06 木育フェスティバル

実施に向けて、実行委員会に参加

◆地域づくりネットワーク

やまびこネットワークに加入

地域活性化センター賛助会員

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



◆中信地区環境教育ネットワーク

2018/12/25 平成30年度第2回松本市小中学校環境教育支援事業連絡会に参加

2019/3/1 臨時総会に出席

◆NPO法人自然体験活動推進協議会

2018/11/30 トレーナー更新講習、包括保険加入者ミーティングに参加

2018/12/01 NEAL コーディネーター更新講習に参加

◆ハッピーハロウィン実行委員会

2018/10/27 ハロウィン

実施に向けて、事前会議に参加

(3) 体験事業に関わる指導者育成事業

3-1 森カフェコーディネーター養成講座/主催事業 (2015年度より実施)

30年度は実施できなかった。

3-2 サポーター向け勉強会

未実施

(4) 地域の情報収集発信事業

4-1 メールマガジン発行

2018/4~2019/3 登録110人(↑59人)

HTML形式のメールマガジンに完全移行した。

4-2 活動の動画配信

依頼なし

4-3 げんすけがゆくの発行

未実施

(5) 地域の物産開発ならびに販売事業

5-1 げんすけグッズ/FR

◆塩尻市内の店舗での販売

→(モナミ美容室、温(ぬっく)、木曾地場産センター)

◆イベントでの販売

2018/4/15 さくらフェスタ

2018/9/2 ひらいで遺跡まつり

2019/2/11 げんすけ祭り

売り上げ：店舗：18,720円(↑610円) イベント 4,400円(↓9,350円)

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



ネットショップ (BASE) 657 円 (↑657 円)

5-2 こどもたちの元気の源「^{げんげん}元源ブランド」づくり/FR
未実施

(6) 地域課題解決のための企画運営事業

6-1 出前イベント (ワークショップ)
依頼がなかったため、未実施

— NPO法人の運営 —

(1) 理事、事務局の対外的な活動

◆講師

2018/8/11 林業センター 虫の観察講師 (理事長 山田勇)

2019/2/26 あさひ環境のつどい (理事長 山田勇)

◆委員会・会議出席

塩尻市中央公民館運営審議会 (理事長 山田勇)

塩尻市青少年問題協議会 (理事長 山田勇)

◆その他

市民タイムス リレーコラム「のんびりあそぼう」掲載 (理事長 山田勇)

NPO 法人春の小川 ホームページ作成 (理事長 山田勇)

(2) 法人内での活動

・会議

◆総会

2018/5/3 通常総会

◆理事会

2018/4/22

・広報

パンフレットの配布、Twitter・Facebook・Instagramの更新

松本市へのブース出展、コラボ企画等を実施→未実施

月刊イクジィ、Kids Komachi に広告を掲載

・ファンドレイジング

げんすけグッズの販売のみ実施。

・会員向けサービス

会員オリジナルげんすけカード (会員証) を発行

わおん♪会員通信を3ヶ月に1回発行

森カフェへの参加割引

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



・会員募集

森カフェをきっかけに会員が増えた
イベント受付の際などPRしたり、積極的に誘いするようにした

・管理（顧客・備品）

セールスフォースのプロボノを活用し取り組み中。
会員、イベント参加者、サポーター情報を管理できるように調整中。

・会計、税務

引き続き、会計王を活用。
事務局は3ヶ月ごとにチェックした。
講師謝礼、給与に関して、源泉徴収を実施している（2016年1月～）
住民税は特別徴収を実施

・労務事務（法人事務）

社会保険への加入している（2015年12月～）
拠点となる事務所を検討する
（もしくはクラウドサービスを活用して、情報共有しながら仕事をする）
※書類データ：Dropbox 写真データ：box 遠隔会議：appear.in →実施
日々の情報共有：Facebook グループ →実施
顧客情報等：セールスフォース → 試行
タスク管理：Evernote →実施
労災、雇用保険は入れない

